

**大阪市中央公会堂**  
**令和5年度 事業報告**  
(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

**令和6年3月31日**

**サントリーパブリシティサービスグループ**

**大阪市中央公会堂 令和5年度 事業報告書 目次**

表紙

1. 指定管理者の名称、事務所所在地 及び 担当者連絡先 .....	<b>P.1</b>
2. 組織体制及び定期報告等 .....	<b>P.1</b>
1) 組織体制	
2) 運営状況の報告及び情報共有の定期的な実施	
3. 施設の利用状況 .....	<b>P.2</b>
1) 利用稼働率	
2) 利用料金収入	
4. 施設における収支状況 .....	<b>P.3</b>
5. 業務実施状況	
1) 「重要文化財・大阪市中央公会堂」PRとにぎわいの創出.....	<b>P.5</b>
(ア) 特別室ガイドツアーの実施	
(イ) 大阪府立中之島図書館とのコラボガイドツアーの実施	
(ウ) コンシェルジュサービスの導入及び東側鉄扉の開放	
(エ) 館内スーベニアショップ（公会堂グッズ販売）の運営	
(オ) 展示会の企画運営	
(カ) 免震装置の視察受入	
2) 利用促進活動 .....	<b>P.7</b>
(ア) 貸館の利用促進	
(イ) 利用者の利便性向上	
①PayPay導入	
②合同下見会の定期開催	
③オンライン対応拡充	
(ウ) お客様満足度の向上.....	<b>P.8</b>
①OUR CREDO（SPSサービス憲章）の実践	
②サービスプロジェクトの継続	
③責任者会議の実施	
④スタッフ研修	
3)自主事業の実施 .....	<b>P.10</b>
(ア) 公会堂わくわく探検隊	
(イ) 生きた建築ミュージアムフェスティバル	
(ウ) 大阪中之島 名建築ガイドツアー	
(エ) 駅から始まるアートイベント『キテ・ミテ中之島2023』連携事業	
(オ) 大阪市中央公会堂 クリスマス展2023	
(カ) 特別見学会 ～歴史と意匠～	
(キ) オプションガイドツアー	
4) 広報活動（情報発信及び利用促進業務）.....	<b>P.16</b>
(ア) 公会堂HPを活用した情報発信	
(イ) プロモーションビデオの運用	
(ウ) Xによる情報発信	
(エ) 記事掲載・HP掲載・メディア（新聞・TV・ラジオ・雑誌等）での 公会堂紹介	
5) 利用者モニタリングの実施 .....	<b>P.18</b>
(ア) 施設利用者アンケート	
(イ) 特別室ガイドツアーアンケート	
6) その他 .....	<b>P.19</b>
(ア) 感染症拡大防止施策への協力と対応	
(イ) 中之島通の歩行者空間化工事（公園化）に伴う対応	
(ウ) 施設整備におけるトラブル予防及び来館者の安全確保への取り組み	

※別添資料 資料① 稼働率一覧

## 1. 指定管理者の名称、事務所所在地 及び 担当者連絡先

サントリーパブリシティサービスグループ

代表構成員

東京都江東区豊洲 3 丁目 2-24 豊洲フォレシア 16 階  
サントリーパブリシティサービス株式会社 (以下 SPS)  
代表取締役 千 大輔

構成員

大阪府大阪市中央区船場中央四丁目 1 番 10-203 号  
一般財団法人大阪教育文化振興財団 (以下財団)  
理事長 出海 健次

担当者：大阪市中央公会堂 館長 西村 邦彦 (SPS文化ハピネス事業部)

同連絡先：大阪市中央公会堂 (以下公会堂)

〒530-0005 大阪市北区中之島1-1-27

TEL：06-6208-2002 FAX：06-6208-2003

## 2. 組織体制及び定期報告等

### 1) 組織体制

館長の下に副館長 2 名を配し、うち 1 名を管理事務 (全体窓口・総務・経理等)、他の 1 名を施設管理 (設備・警備・舞台運営管理) の担当責任者とし、更に設備・警備及び舞台操作には各専門企業から適切な人材を配置した。

#### 【運営業務分担及び担当員数等】

館長 1 名

副館長 (管理事務) 1 名

副館長 (施設管理) 1 名

舞台操作業務担当者 1 名

設備管理担当者 1 名

管理運営責任者 1 名

利用促進担当 1 名

広報・事業企画責任者 1 名

経理担当 1 名

コンシェルジュマネージャー 1 名

コンシェルジュ 4 名

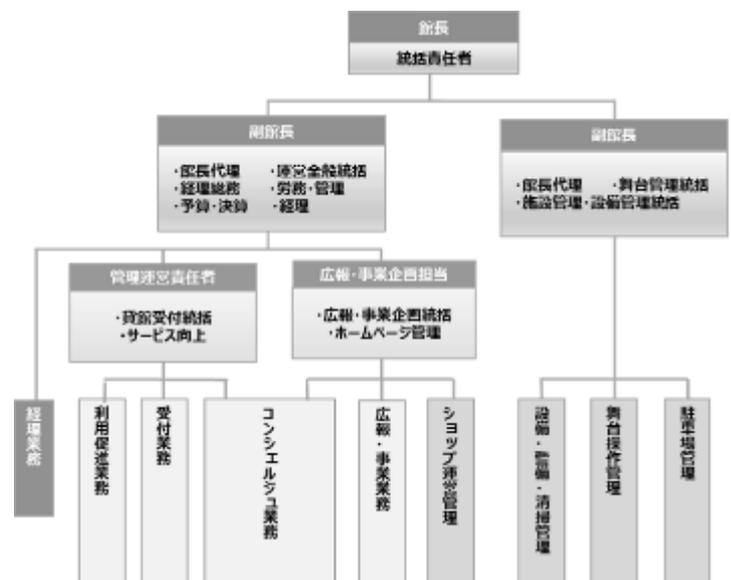
受付担当 5 名

ショップ運営業務 (グッズ販売) 1 名 (兼務)

警備担当 3 名

※上記職員等を時間帯別に配置して運営

※ショップはグッズ類を窓口や通信での販売にて運営。



## 2) 運営状況の報告及び情報共有の定期的な実施

前月の運営に係る業務報告並びに課題抽出と改善策の検討を各月の第4週に定期的に大阪市経済戦略局文化部担当者と実施した。

当該運営に関する会議に加え、偶数月は設備機器関連の稼働状況及び修繕等を報告し、奇数月は館内レストラン「中之島ソーシャルイートアウェイク」のオーナー・店長とイベント情報や意見交換の場を設け連携強化を図った。

### ■会議開催日

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実施日	28日	25日	22日	28日	24日	28日	26日	24日	22日	25日	22日	28日

## 3. 施設の利用状況

### 1) 利用稼働率

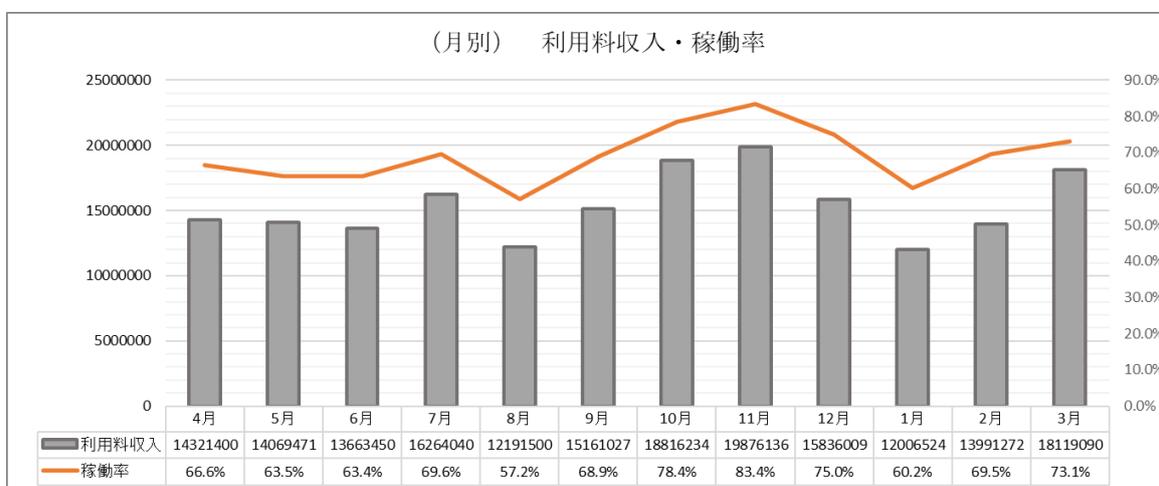
	令和5年度実績		令和5年度 事業計画	令和4年度 実績
		計画比		
利用総区分数	12,144 区分	107.0%	11,352 区分	10,897 区分
稼働率	69.1%	106.1%	65.1%	62.1%

※稼働率＝稼働区分数計÷「3区分÷日×貸室数×稼働日数」)

### 2) 利用料金収入

(円)

	令和5年度実績		令和5年度 事業計画	令和4年度 実績
		計画比		
室料	160,269,849	109.7%	146,160,000	140,153,600
附属設備利用料	23,982,224	109.8%	21,840,000	20,136,607
合計	184,252,073	109.7%	168,000,000	160,290,207



※利用料金収入は室料と付帯設備料の合計額から算出 (単位: 円)。

稼働率は 69.1%（計画比 106.1%）、利用料収入は 184,252,073 円（計画比 109.7%）といずれも前年・計画を超えて達成した。特に中集会室をメイン会場とした連続開催の展示会やマルシェ利用等が増加し、3 階フロア（中集会室・小集会室・特別室）の稼働率を押し上げたことで、利用料収入の増加に繋がった。その他、企業への DM 発送や下見会の開催等、貸会場としての PR を積極的に行うことにより、大規模催事に利用される大集会室・中集会室・小集会室等の稼働平均は 70.9%（計画 60.0%、前年 58.8%）となり、全体としてコロナ前の 99.4%まで回復させることができた（参考：平成 29 年～令和元年平均稼働率 75%、利用料収入 185,519 千円）。

※令和 5 年度の感染症拡大防止に伴う利用辞退に対する還付合計金額は以下の通り。

合計：888,820 円

#### 4. 施設における収支状況（令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日）

### 大阪市中央公会堂 令和 5 年度収支報告書

（単位：円/消費税込）

項目	内 訳	年間計画		実 績		年間進捗率
						(%)
収入	利用料金収入	168,000,000		184,252,073		109.7%
	その他収入	55,127,000		60,794,999		110.3%
	舞台人件費等	41,100,000		46,095,518		112.2%
	レストラン収入	8,712,000		8,712,000		100.0%
	グッズ収入	1,485,000		1,420,987		95.7%
	ガイドツアー収入	3,810,000		4,562,420		119.7%
	その他雑収入	20,000		4,074		20.4%
	自主事業収入	37,786,000		37,541,411		99.4%
	大阪市損失補填	-		2,321,069		-
<b>収入の計</b>		<b>260,913,000</b>		<b>284,909,552</b>	<b>109.2%</b>	
支出	人件費	86,652,000		86,673,676		100.0%
	事務費	15,563,000		17,170,497		110.3%
	管理費	126,200,000		129,469,393		102.6%
	広告費・宣伝費	3,722,000		3,444,260		92.5%
	光熱水費	47,488,000		37,327,087		78.6%
	自主事業経費	6,680,000		4,497,061		67.3%
	租税公課	817,000		3,519,578		430.8%
	大阪市納付額	2,808,000		2,808,000		100.0%
<b>支出の計</b>		<b>289,930,000</b>		<b>284,909,552</b>	<b>98.3%</b>	

収支報告書について以下の通り報告する。

## ● 収 入

収入計は、大阪市からの損失補填を除き、282,588,483 円（計画比 108.3%）となり、計画差異+21,675,483 円、前年に対し+27,860,004 円となった。利用料金収入は 184,252,073 円と前年から 23,961,866 円増加し、上述の通り、コロナ前比 99.4%と僅かに及ばないものの大きく改善した。稼働率の上昇に伴う舞台技術者の人件費収入等の増加（計画比 112.2%）や、感染症対策で縮小していた特別室ガイドツアーの定員数の増加による収入も好調だった（計画比 119.7%）。

「自主事業収入」については、「大阪中之島 名建築ガイドツアー」「特別見学会」等のチケット収入が計画通りであった。一方で「クリスマス展」「生きた建築ミュージアムフェスティバル」は周辺イベントと合わせて沢山の方にご参加いただけるよう、参加費無料としたことから若干計画を下回った。また「早朝・深夜における貸館対応」の需要は依然として多く、合計額は 37,541,411 円（計画比 99.4%）となった。<sup>1</sup>

## ● 支 出

支出計は 284,909,552 円（計画比 98.3%）となり、計画内に収まった。

「事務費」内に計上した「修繕費」は、大集会室舞台照明部品交換作業、受水槽・消化水槽修繕工事、屋外排水管に詰まった木根除去作業のほか、劣化が激しいトイレ関係の修繕（5 件）、扉・鍵関連の修繕（4 件）等、施設設備の経年劣化に伴う緊急修繕及び予防保全の為の補修を行い 4,755,045 円（計画比 144.1%）と計画を大きく上回った。その他、「システム運営費」はメール対応やオンライン打合せ等の導入に伴うパソコンの増設等により、2,084,896 円（計画比 119.1%）となり、全体として 17,170,497 円（計画比 110.3%）となった。

「管理費」は、舞台技術者の発注増加に伴う委託費が増加（計画比 108.2%）した以外は、ほぼ計画通り推移し 129,469,393 円（計画比 102.6%）となった。

「広報費・宣伝費」については、利用促進の一環として「貸会場のご案内」パンフレットの製作や公式 HP の一部改定による費用がかかったものの、SNS を活用した告知によりチラシ印刷の削減に繋がったこともあり、3,444,260 円（計画比 92.5%）と抑えられた。

「光熱水費」については、昨今の燃料価格の高騰を受けて予算を上乗せして計画していたが、国の補助施策などもあり、前年比で 6,525,236 円減の 37,327,087 円に抑えることができ、利益への影響も抑えることができた。

「自主事業経費」については、早朝・深夜における貸館対応の売上増に伴う委託料の増加はあったものの、自主企画のコスト削減など工夫を凝らし 4,497,061 円（計画比 67.3%）となった。

上記の通り、利用料収入を増やす為の活動を強化したことで、昨年と比較して収支は大きく改善したものの、大阪市への納付金（2,808,000 円）を含めると赤字を余儀なくされた。

そのため大阪市より、今後の施設の安定的運営の維持を図る観点から、新型コロナウイルス感染症の拡大及び原料価格、エネルギーコスト等の上昇による損失補填として、2,321,069 円を受けた。

## 5. 業務実施状況

### 1) 「重要文化財・大阪市中央公会堂」PR とにぎわいの創出

#### (ア) 特別室ガイドツアーの実施

定例開催の「特別室ガイドツアー（令和6年1月より「館内ガイドツアー」から改名）」を継続して実施。コロナ5類移行後は定員を14名から以前の30名に戻しつつ、安全に催行することに努めた。テレビの情報番組でガイドツアーが取り上げられた影響が大きく、年間を通して参加者数は定員の93%を達成しており、依然として高いニーズがある。

#### (イ) 大阪府立中之島図書館とのコラボガイドツアーの実施

令和4年度より、上述した特別室ガイドツアーの一部を隣接する大阪府立中之島図書館（以下、図書館）との合同開催とした。図書館内のレストラン「スモープローキッチンナカノシマ」でのモーニングの後に、図書館と公会堂をそれぞれのガイドスタッフがお案内するという内容で実施。中之島を代表する竣工100年を超える二つの重要文化財を一度に回る機会を創出することで、中之島エリアのPRに繋がられた。

### ■ガイドツアー参加人数実績

(人)

開始時間	コース名	令和5年										令和6年			合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
10:00～	ベーシックコース	37	24	60	37	43	44	34	28	38	60	27	59	491	
	ランチ付コース	54	65	79	76	63	68	81	57	72	48	64	51	778	
	計	91	89	139	113	106	112	115	85	110	108	91	110	1,269	
11:00～	ベーシックコース	25	53	27	35	28	23	38	20	25	35	39	27	375	
	ランチ付コース	59	47	104	66	75	77	70	52	75	68	72	73	838	
	図書館コラボツアー	7	10	10	10	7	9	10	10	10	9	10	10	112	
	計	91	110	141	111	110	109	118	82	110	112	121	110	1,325	
合計		182	199	280	224	216	221	233	167	220	220	212	220	2,594	



大阪府立中之島図書館とのコラボツアーの様子

## (ウ) コンシェルジュサービスの導入及び東側鉄扉の開放

大集会室の利用がない日に限り、通常は大集会室利用者専用としている東側鉄扉を開放して観光客等を受け入れた。特に多くの来館が予想される日にはコンシェルジュを配置し、ロビーにて公会堂のプロモーション映像を流して歴史や室内のみどころを紹介するとともに、大集会室を開放して自由見学を可能とした。またプロモーション映像の二次元バーコードを提示し、ご自身のスマートフォンからアクセスを促し、動画を通して各部屋の様子を知っていただけるようにするなど、多くの方々に公会堂の魅力を発信した。

※東広場の工事期間中は混雑を避ける為、実施なし。



コンシェルジュによる案内



開放日は SNS にて告知

## (エ) 館内スーベニアショップ（公会堂グッズ販売）の運営

公会堂をモチーフにしたトートバック、焼菓子、クリアファイル、ピンバッチなどをラインナップし、地下1階の公会堂事務室の窓口販売及び公会堂公式HP（以下、公会堂HP）内での告知による通信販売を行った。販促チラシや商品ディスプレイで商品PRを行ったほか、貸館利用者を対象とした大口割引制度を取り入れたことで一定の売上を獲得できた（年間売上1,420,987円）。

## (オ) 展示室の企画運営

大阪大学総合学術博物館と連携し、公会堂の設計コンペの際に提出された13案のうち、岡田信一郎による採用案を除く12案の中から5案を選び、その外観図を現在の風景にそれぞれ合成した画像をパネル化、展示した。これらの画像は、大阪大学総合学術博物館で開催された第16回特別展「モダン中之島コレクション“大大阪”時代の文化芸術発信センター」（令和4年4月28日～7月30日）に向けて製作されたもので、実現しなかった「まぼろしの公会堂」の数々がリアルに表現されており、来館者の探究心をそそるユニークな展示を新たに提供することができた。

また、令和5年4月に学術・文化・芸術の発信拠点としてリニューアルオープンした「大阪大学中之島センター」の紹介パネルも加え、中之島内の他施設へ来館者を誘導する意図も込めた展示とした。



企画展示の様子

(カ) 免震装置の視察受入

今年度の視察受入実績は1件。

2) 利用促進活動

(ア) 貸館の利用促進

大集会室、中集会室など大部屋の利用促進策として、貸室の仕様、料金、ご利用例を掲載したご案内パンフレットを作成し、京阪神の一般企業 750 社と過去に利用されたお客様宛てに発送した。また、都市魅力発信に繋がる大規模催事の誘致に向け、大阪観光局主宰の「中之島 MICE 会議」や MICE ビジネスの人材を育成する「MICE アカデミー」へも継続して参加し、貸館としての公会堂をアピールするとともに業界関係者とのネットワークの構築にも努めた。

※令和5年度に獲得した学会等の大規模催事の予約件数は合計12件（目標7件）



貸会場のご案内パンフレット



MICE アカデミーの様子

(イ) 利用者の利便性向上

① PayPay 導入

お客様の利便性向上を図るため、キャッシュレス決済手段として PayPay を導入した。まずは令和5年4月1日からガイドツアーと自主事業の支払いから導入し、その後、会議室の支払いにも対象を拡大した。

## ② 合同下見会の定期開催

稼働率が高く下見の機会が限られている中集会室を対象とした合同下見会を開催した。今年度は毎月定期的で開催し、より多くの主催者に参加いただけるようになった。

## ③ オンライン対応拡充

Teams でのリモート打ち合わせや「オンライン予約利用申込フォーム」からの予約申し込みをご案内し、オンラインでコミュニケーションを希望されるお客様のニーズに応えた。また、「オンライン予約利用申込フォーム」からメールで請求書を受領できるように WEB サイトの改修を行った。



合同下見会の定期開催



オンライン予約利用申込フォーム

## (ウ) お客様満足度の向上

### ① OUR CREDO (SPS サービス憲章) の実践

代表構成員が長年サービスを提供してきた中で培ったホスピタリティマインドをスタッフ全員に共有できるように集約した「OUR CREDO」を業務時に携帯。休館日研修等で日々のサービスの振り返りに活用すると同時に、「OUR CREDO」に基づき、毎日のお客様とのやりとりから品質向上やサービス拡充の芽に気づき自ら育てる意識を醸成した。

### ② サービスプロジェクトの継続

お客様から頂くご意見やご要望、またスタッフが日々遭遇する問題点を一緒に振り返り、サービス品質の向上やお客様の利便性を高めるための業務改革に取り組んだ。研修では、一般的な電話対応の事例に基づいたロールプレイや、施設に関する知識を確認する時間を設けることで、より高度な対応能力を身につけることができるように努めた。

### ③ 責任者会議の実施

毎月 1 回 各業務の責任者が集まり、貸館事業やサービスプロジェクトで抽出した問題点及びその他のお客様対応において改善が必要な案件の共有を行い、責任者間での議論を深め、より良い運営へと繋げた。内容によっては、定例会等を通じて大阪市担当部署との情報共有も適宜行った。

#### ④ スタッフ研修

救急救命、人権、個人情報管理等、公共施設運営に必要な基本研修に加え、大規模催事の誘致率向上及びサービス向上につなげる為のワークショップ等、全スタッフ対象の研修を計画的に実施した。

##### 【入社時研修】

- ・ サービス接遇研修（講師：SPS）
- ・ 顧客満足研修（講師：SPS）
- ・ コンプライアンス研修（講師：SPS）
- ・ 貸館予約受付研修（講師：SPS）
- ・ 貸館機材操作及び実習（講師：SPS）
- ・ 予約システム操作研修（講師：SPS）
- ・ 公会堂の歴史/中之島周辺の沿革（講師：SPS）
- ・ 現金管理業務研修（講師：SPS）

##### 【通常時研修】

- ・ 情報公開研修（4/25 実施 講師：財団）
- ・ 人権研修（11/28 実施 講師：財団）
- ・ サービス、接遇マナー研修（7/25、11/28、1/22 実施 講師：SPS）
- ・ 個人情報保護、機密情報保護（10/17 実施 講師：SPS）
- ・ コンプライアンス研修（8/31、11/30 実施 講師：SPS）
- ・ 利用促進活動についての理解と促進（4/25、11/9、12/12 実施 講師：SPS）
- ・ 公会堂・中之島知識アップ研修（6/27 実施 講師：財団、SPS）
- ・ 舞台技術、設備に関する研修（1/25 実施 講師：大阪共立）
- ・ 緊急時対応（防災／避難訓練）研修（7/25、10/13 実施 講師：財団、SPS）
- ・ 救命救急講義受講と実施訓練（3/26 実施 講師：大阪市北消防署）
- ・ 環境保護活動への理解（11/20 実施 講師：SPS）
- ・ 他施設見学

（9/26 大阪市立大阪阿倍野防災センター、1/27・2/22 クレオ大阪中央館、  
1/20・2/16 大阪市立総合生涯学習センター視察）



ワークショップの様子



舞台設備研修



防災訓練の様子

### 3) 自主事業の実施

自主事業のイベント企画については、人の流れが本格化してきた昨年度の状況を踏まえ、参加人数や所要時間をコロナ禍前の状態に戻していくよう適切に判断し、実施した。公会堂の認知度向上に加え、中之島エリアの魅力発信の為、周辺施設や企業との連携事業のほか、大阪や中之島での観光客やイベントが増加傾向にあるため、他府県からの来館も促せるような企画を進めた。

#### (ア) 公会堂わくわく探検隊

##### ・趣旨

夏休み期間に、小学生とその保護者が一緒に楽しめるイベントを開催。大集会室・中集会室・特別室の見どころをガイドがこども向けに紹介し、免震階の案内を通じて最新免震技術を楽しく学んでもらう。最後に公会堂に関連するオリジナルのワークショップを催し、家族で過ごす時間を通して未来のファン獲得を目指す。

##### ・実施内容

開催日時		会場	参加人数
8月8日(火)	10:00~12:00	大集会室・中集会室 特別室・免震階	こども 23人 おとな 20人

小学生とその保護者を対象に、大正時代の貴重な意匠が残る3部屋と、普段は入ることのできない免震階をガイド付きで探検し、公会堂の歴史、見どころ紹介と地震から貴重な建物を守る仕組みについて画像や解説を用いて分かりやすく学ぶ内容とした。また、探検後は特別室のステンドグラスをモチーフとした工作ワークショップを行い、公会堂での思い出づくりと興味に繋げた。アンケートでは「未来を担うこどもたちが大阪の良さを知れる楽しい機会になった」「歴史的な建物を残すための現在の技術を知ることができた」などの声が聞かれ、子供だけでなく大人も楽しめる満足度の高い催しとなった。



#### (イ) 生きた建築ミュージアムフェスティバル

##### ・趣旨

2014年から毎年秋に開催されている大阪発の日本最大級の建築公開イベント「生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪」(通称:イケフェス大阪)に今年も参画。全国から集まる建築ファンや観光目的の方をターゲットに、現在も現役で利用されている「生きた建築」を公開し、受け継がれる公会堂の歴史や魅力を広く知っていただく機会とした。

今年はいケフェス大阪 10 周年を記念して 2 日間に分けて特別公開し、プライベートでは NHK 放送局との共同企画でトークイベントを開催した。

・実施内容

① トークセミナー『大阪市中央公会堂～生きた建築とクラシック～』

開催日時		会場	参加人数
10月26日(木)	11:00～21:00	大集会室・中集会室 特別室	一般公開 222人
	19:00～20:30	中集会室	トークイベント 82人

イケフェス本番日に先駆けプライベートを開催。大集会室・中集会室・特別室の3部屋を特別公開したほか、中集会室ではNHK大阪放送局制作「クラシック倶楽部」において、長年公会堂で演奏会を行っているテレマン室内オーケストラの創立60周年をとりあげる放送をきっかけに「建築と音楽」をテーマにしたトークイベントを開催した。トークイベントでは、NHKのディレクター、近代建築の専門の高岡伸一氏(近畿大学 准教授)、テレマン室内オーケストラ首席チェロ奏者鷺見敏氏に登壇いただき、各専門家から公会堂の魅力を語っていただく機会とした。番組制作の裏話や演奏者から感じる音の響きや雰囲気などなかなか聞けない話に、参加者から「公会堂での演奏会があればぜひ聞きたい」「平日夜にこのようなイベントをまたやって欲しい」など、公会堂への再訪を促す認知度アップに繋がるイベントとなった。また、特別室では大阪市立科学館と連携し、前身である大阪市立電気科学館時代に電気の参考資料として保管していた貴重なランプや建物の図面などの書籍をお借りし、説明を加えて展示をした。



② 生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪 2023 特別公開

開催日時		会場	参加人数
10月28日(土)	11:00～17:00	大集会室・中集会室 小集会室・特別室	1,123人

イケフェス当日は、公会堂を代表する大集会室・中集会室・小集会室・特別室の4部屋を特別公開した。特別室では26日に引き続き、大阪市立科学館からお借りした書籍を展示し、昭

和初期の建築図面や室内灯などの内容は多くの建築ファンの心をくすぐるものとなった。また、副館長による特別解説を4回開催し、公会堂の歴史や建物の魅力をお話した。参加者からは「公開されているホールなどが初めてでとても感激した」「公会堂をいつまでも残してください」などの声があり、大阪 中之島の都市魅力を高めるとともに公会堂の保存や理解へ繋げるイベントとなった

2日間の総来場者数は1,345人となり、多くのお客様に来館いただいた。



#### (ウ) 大阪中之島 名建築ガイドツアー

日本銀行大阪支店 大阪府立中之島図書館 大阪市中央公会堂

##### ・趣旨

明治、大正期の歴史的建造物であり、今なお経済・芸術・文化の拠点として知られる大阪中之島を代表する3つの名建築（日本銀行大阪支店、大阪府立中之島図書館、大阪市中央公会堂）を1日で巡るガイドツアーを初開催。近隣施設と連携し市民をはじめ中之島エリア及び大阪の都市魅力向上を図る。

また、「生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪」のアフターイベントとして連携し、公会堂の認知度アップを目指す。

##### ・実施内容

開催日時		会場	参加人数
11月15日(土)	① 10:30～11:30	展示室・特別室・ 免震階	57人
	② 13:00～14:00		
	③ 14:30～15:30		

大阪中之島を代表する3つの名建築を1日で巡るガイドツアーを3館合同で企画した。各20名ずつ3つのグループに分け、各施設の普段は入れないようなエリアの見学をじっくり楽しんでいただく内容とした。初開催ということもあり注目度は高く、約1,200名の応募のうち抽選により60名が当選し、倍率は約20倍という人気の高いイベントとなった。公会堂では、展示室、特別室をご案内の後、通常のガイドツアーでは入ることのできない建物の地下にある免震装置をご覧いただけるエリアへご案内し、特別感を演出した。参加者は普段目にできない免震装置とその説明に熱心に耳を傾け、特別室では意匠や建築

の細部などを写真に収め楽しまれていた。

また3館の創建当初の写真を掲載したオリジナルカレンダーを製作しプレゼントしたほか、当日の巡回ルートなどを記載したしおりに各館の記念スタンプを押せるようにするなど名建築ツアーの記念をお持ち帰りいただけるよう工夫した。

「ずっと前から興味がありようやく実現した」「本当に興味深いツアーだった」「1日で3か所巡れてよかった」といった声も寄せられ、それぞれの歴史や建築を深く学んでいただき、中之島の魅力をより知っていただける機会となった。



日本銀行 大阪支店



大阪府立中之島図書館



大阪市中央公会堂

#### (エ) 「駅からはじまるアートイベント『キテ・ミテ中之島 2023』」連携事業

ー つづく！！未来の大人たちへ ー

##### ・趣旨

芸術をきっかけに中之島を訪れ、愛着と理解を深めていただくイベント「駅からはじまるアートイベント キテ・ミテ中之島」(京阪ホールディングス株式会社主催)に参画。2023年で12回目の開催となる本イベントに連動し、公会堂の認知拡大と地域とのつながりを持ち、近隣施設や企業との連携強化を図る。

##### ・実施内容

11月26日(日)～12月25日(月)の期間、公会堂地下1階共有スペースにて、中之島エリアにあった医塾「合水堂」の理念や歴史をもとに親子で思い合うところを表現した学校法人聖心学院新森幼稚園の園児と参画団体制作の「リボンでつなぐ みんなの愛 ～家族を想うところ～」の作品を展示。自由に見学できる共有スペースに作品を展示することで、中之島が持つ「文化・芸術の地」というイメージを広く発信すると共に、公会堂の公共施設としての貸室利用の認知向上につなげた。



## (オ) 大阪中央公会堂 クリスマス展 2023

### ～ VERY MERRY CHRISTMAS EXHIBITION ～

#### ・趣旨

本展示会のために制作された公会堂や大阪の風景などをテーマにした作品を展示。アートを身近に感じることのできる場を提供することで、市民をはじめ多くの皆様にクリスマスの時期に合わせて公会堂へ足を運んでいただき、公会堂の認知向上と魅力度アップを図り観光地としての中之島エリアににぎわいを創出する。

#### ・実施内容

	開催日時	会場	参加人数
12月14日(木) ～ 12月19日(火)	11:00～20:00 最終日は16:00まで	大会議室	2,525人

広告や出版業界で活躍しているイラストレーター67人が「大阪中央公会堂」や「クリスマス」をテーマにした100点を超える作品を描き下ろして制作し展示。イラストレーターの展示ゾーン以外にも産学連携ゾーンを設け「大阪市立デザイン教育研究所」の学生が制作した立体作品も展示し、「産・官・学」の連携企画として取り組み開催した。毎年多くの方でにぎわう「OSAKA 光のルネサンス」とも連携し、イルミネーションやプロジェクションマッピングと合わせて、中之島を訪れる多くの方にアートに触れていただき、幅広い年齢層へ公会堂のアピールと思い出深い時間を過ごしていただいた。大阪観光局の後援を受け、市内の観光局インフォメーションやSNSを通じて大阪府外への幅広い客層へアピールも行ったことで期間中の入場者は2,525名と予想を大きく上回ることができた。

アンケートでも「どの絵もそれぞれ個性があっておもしろかった。またやって欲しい」「期待以上に見応えがあった」と好評であった。



## (カ) 特別見学会 ～歴史と意匠～

#### ・趣旨

大阪市を代表する建造物であり重要文化財である公会堂の普段は自由にご覧いただけない館内をスタッフが案内し、市民をはじめとする多くの方々にその魅力を体感していただく。

・実施内容（開催日時・参加人数）

開催日時		会場	参加人数
2月11日（日）	① 10:00～11:15	大集会室・中集会室 小集会室・特別室	133人
	② 10:45～12:00		
	③ 14:30～15:45		
	④ 15:15～16:30		

・内容

公会堂を代表する大集会室・中集会室・小集会室・特別室に施された豪華な意匠などの見どころ紹介に加え、各部屋の具体的な使用例を紹介するなど、公会堂の歴史と現在の魅力を解説するガイドツアーを実施した。毎年人気の見学会で、今回も予約開始早々に満席となった。建造物としてだけでなく、中之島全体の成り立ちや公会堂の歴史解説を通じて公会堂保存と貸室利用への興味や関心を広めることができ、参加者から「公会堂の素晴らしさ、先人の偉業に触れられ充実した時間となった」「保存、維持は大変だろうけど残っていて欲しい」といった新たな発見と理解の声を聞くことができた。また、大阪府下のほか九州や関東圏など遠方からも参加いただき、大阪府外からの参加は約4割を占めた。



(キ) オプションガイドツアー

・趣旨

通常のガイドツアーとは別に、貸館利用者に対してオプション（有料）で公会堂の歴史や部屋の見どころをスタッフが紹介し、貸館としての公会堂の付加価値を高めることを目的とする。展示会利用の主催者や、旅行代理店等と日時や部屋、催行時間・ルート・内容・参加人数を調整し、貸館運営との両立を図っていく。

・実施日時・参加人数

令和5年4月～令和6年3月 合計19件 484名

・実施報告

オプションツアーの申し込み理由はさまざま、展示会の合間のレクリエーションや、建築関連団体の研修、旅行会社の企画ツアーや同窓会への組み込みなど多種多様に渡った。

通常のガイドツアーとは違い、日時や内容、さらにはツアーを実施する部屋まで指定可能であることにより、お客様のニーズに合わせ公会堂の建築的魅力を理解していただくと同時に、公会堂でのイベント開催の付加価値を提供することができた。

具体的な実施にあたっては、ツアー前後のスケジュールや参加者の背景を事前にヒアリングし、スムーズにツアーを行えるように調整を行うことで、参加者や旅行会社から好評を得ている。今後も継続し、新たな需要を取り組んでいきたい。

#### 4) 広報活動（情報発信及び利用促進業務）

人の流れが活発化する中、公会堂の認知拡大と重要文化財でありながら貸施設として利用できる本来の公会堂の価値醸成を目的に広報活動を展開した。

貸室利用が増加傾向にあり、下見の要望に応えにくくなっている中、3D バーチャルツアーや 360 度ビューなどの画像活用を積極的にすすめ、ニーズに合った利用促進に繋げた。また、大阪観光局主宰「中之島エリア MICE 会議」や中之島エリアの文化施設で構成される協議体「クリエイティブアイランド中之島」に継続して参画し、中之島全体の魅力・情報発信や関係性構築に努めた。

令和 7 年開催の万博が近づくにつれ、メディアでの大阪観光や施設紹介の機会が増加傾向にあり、公会堂もメディアと連動した露出の機会を増やすことができた。

##### (ア) 公会堂 HP を活用した情報発信

「イベント紹介欄」「お知らせ欄」を用いた催事情報や貸館利用情報、抽選会情報に加え、公会堂周辺の歩行者空間についてなど最新の内容をタイムリーに発信するよう努めた。

また、昨年より公会堂のプロモーションビデオや 360 度ビュー、3D バーチャルツアーを公会堂 HP で公開し、利用を考える方への情報提供を積極的に行った。

##### (イ) プロモーションビデオの運用

大集会室開放日や自主事業開催時に、通常自由に見学することができない公会堂の各室の様子や公会堂の歴史を館内写真とともに紹介する公会堂のプロモーションビデオを、開場前やイベント中に放映し、付加価値向上につなげた。

##### (ウ) X による情報発信

令和 2 年に開設した X を継続運用し、建物としての魅力が伝わるよう写真や文章にも工夫を凝らし、また公会堂に限らず中之島や船場界隈の周辺施設やイベントとも連携し投稿を行った。フォロワーも順調に伸び、この 1 年でさらなるファンを獲得することができた。今後も X で広報活動や自主事業についての情報発信を続けていくとともに、公会堂スタッフならではの目線からとらえた内容を投稿していく。

##### (エ) 記事掲載・HP 掲載・メディア（新聞・TV・ラジオ・雑誌等）での公会堂紹介

令和 4 年 2 月に開館した大阪中之島美術館の展覧会での広報誌や科学館などの施設が立ち並ぶ「中之島エリア」を紹介する記事が増加傾向にあり、公会堂も代表施設として紹介さ

れる機会が増えた。

在阪TV局のニュース番組で公会堂とガイドツアーが紹介され、NHKの連続ドラマ小説「ブギウギ」でのロケーション撮影もあり、公会堂を訪れる利用者やガイドツアー参加者から「テレビで見たところに実際に来られて嬉しい」などの声が上がった。その他にもさまざまなプロモーション撮影などで集会室の利用が定着しつつある。

主な掲載媒体は下記の通り。

#### ◎新聞・新聞折込

- ・産経新聞
- ・神戸新聞
- ・建通新聞

#### ◎テレビ

- ・NHK大阪放送局「総合ニュースほっとかんさい」
- ・NHKBSプレミアム「新日本風土記」～大阪モダン 旅する昭和～
- ・NHK連続テレビ小説「ブギウギ」
- ・関西テレビ「フットマップ」
- ・関西テレビ「未来人(ミライスト)」
- ・MBS「よんちゃんTV」“きょうの現場”内で生中継
- ・朝日放送テレビ「newsおかえり」番組のコーナーVTR内
- ・テレビ大阪特番「中之島アートさんぽ」

#### ◎WEBサイト

- ・南海観光レコメンドマップ
- ・ART TOURISM(関西圏の名建築として掲載)
- ・歴史街道デジタルスタンプラリー
- ・るるぶWEB(全国の観光情報として紹介)
- ・大阪観光局公式WEB「OSAKA-INFO」
- ・ナビタイムトラベル(観光スポットとして紹介)
- ・じゃらんニュース(若者向けの観光スポットとして紹介)
- ・タイムアウト大阪(大阪府全体を周遊するウェブマガジン内で紹介)
- ・大阪デスティネーションキャンペーン

#### ◎書籍・雑誌・フリーペーパー

- ・MICE JAPAN 4月号
- ・NAKKA 冬号(大阪中之島美術館イルミネーションパンフレット)
- ・学芸出版社「建築思想図鑑」
- ・朝日新聞出版「日本の旅辞典」
- ・株式会社KADOKAWA「関西夏ウォーカー」
- ・ハースト婦人画報社「婦人画報9月号」

- ・中之島フェスタデルアルテ実行委員会「美術屋百兵衛」
- ・DMO 大阪梅田「プランナーズガイド」
- ・小学館「CanCam8月号」
- ・株式会社京阪神エルマガジン社「SAVVY9月号」
- ・JTBパブリッシング「今行きたい！大阪スポットガイド」
- ・三休橋筋商業協同組合「三休橋筋まちあるきMAP」
- ・株式会社京阪エージェンシー「KEIHAN TRANSIT AD MENU」
- ・JTBパブリッシング「ココミル大阪」

#### ◎その他

- ・LIVE配信アプリ Pococha「OSAKA metro 駅内ポスター」
- ・Honda 名車カレンダー2024（背景イラスト）
- ・Podcast「未完成シアノタイプ」作品内で登場

### 5) 利用者モニタリングの実施

公会堂利用者の属性や利用動機をリサーチし今後の運営に活かすべく「施設利用者アンケート」を実施した。アンケートフォームはオンラインと紙の両方をご用意し回答の利便性を高めた。特別室ガイドツアーについても、参加者の満足度や潜在ニーズを把握すべく、ツアー参加者を対象に終了後にアンケートを実施した。

#### (ア) 施設利用者アンケート

- ・実施期間：令和5年11月13日（月）～令和6年3月31日（日）
- ・対象者：貸館利用者（催事主催者及び参加者）
- ・回答件数：176件

年代を問わず多くの方々にアンケートに回答いただいた。「当館をまた利用したいか」という質問に対し、「そう思う」「ややそう思う」という回答が97.7%を占めた。

令和5年度の傾向として、ご利用年代別では、これまで活動を休止していたサークルや団体が活動を再開され、60代・70代の割合が増加した。また、リアルな会議やイベントの回復傾向により、ご利用者の職業別では「会社員」「自営業者」の割合が大幅に増加した。

利用頻度は、大集会室では「1年に1回」の回答率が他の部屋に比べて高く、年度行事で毎年ご利用いただいているお客様が多い事が推察される。会議室（1～8）は、「1年に10回以上」の回答が最も多くなっており、会議やサークル活動等で定期的な利用が多いことがわかる。初めてご利用の割合は、今年度はリピーター利用の復活により昨年度には及ばないものの、コロナ前と比較し10%上昇した。今後も新規顧客の開拓とともに、リピート利用したいと思っただけけるようなサービスの提供に努めていきたい。

施設・設備については、例年通り、防音設備、トイレ環境、空調環境、Wi-Fi環境などに一定数の改善要望があることには変わらない。しかし、そのような状況にもかかわらず、「満足」「やや満足」を併せると86.8%という結果を得ることができた。夏場の空調問題など設備面で

即時改善が難しいことも多いが、隣室からの冷風の送り込みやサーキュレーターの貸出など、適宜、状況に合わせたフォローを実施した。

今後もアンケートに記入いただいたご意見を参考に、ご利用者視点に立ったサービスの提供に努めたい。

#### (イ) 特別室ガイドツアーアンケート

- ・実施期間：令和5年4月1日（土）～令和6年3月31日（日）間のガイドツアー実施日
- ・対象者：特別室ガイドツアー参加者（中之島図書館コラボツアー参加者含む）
- ・回答件数：2,461件
- ・回収率：94.8%

コロナ5類移行に伴い、令和5年6月からは定員をコロナ前の最大30名に戻した。定員を増員しても参加者数は定員の93%を達成しており、ツアー内容やスタッフの対応に関する満足度も「とても満足」「満足」を合わせて95%と昨年に引き続き高い満足度を維持した。

7月には民放のニュース番組で特別室ガイドツアーが取り上げられ、放送後には番組をご覧になられた非常に多くの方々からの予約をお受けし新たな顧客層に公会堂をアピールすることができた。また、昨年度より中之島図書館と連携して実施している「モーニング付コラボガイドツアー」を今年度は定期開催とし、より多くのお客様にご参加いただき好評を得た。

令和7年の万博開催に向け、今後もガイドツアーを通じて公会堂や中之島並びに大阪の都市魅力をより多くの方々へ広く発信していきたい。

## 6) その他

### (ア) 感染症拡大防止施策への協力と対応

コロナ5類への移行後も、館内に消毒液を設置し、利用者のご要望に応じて感染防止対策グッズや座席パネルの貸出を行うなど、厚生労働省の方針や世間情勢に合致する形で感染防止対策を講じた。



大集会室の座席パネルの貸出



サーモカメラの貸出



消毒液の設置

#### (イ) 中之島通の歩行者空間化工事（公園化）に伴う対応

公会堂東側の歩行者空間化（公園化）に向け、令和4年9月から1年以上をかけ、北向き2車線の道路の1車線化や、公会堂内の東広場の敷地と車道の段差をなくすなど大規模な工事が行われた。工事に協力しつつ、工事音や通行制限、環境等での利用者への影響を最小限に抑えられるよう、広報や対応など実施した。



工事中



工事完了後

#### (ウ) 施設整備におけるトラブル予防及び来館者の安全確保への取り組み

大規模改修工事後21年が経過し、耐用年数を超える設備の老朽化が進んでいることを踏まえ、日常的に適切なメンテナンスを行うとともに、設備の更新工事について大阪市に優先度を示しながら提案を行い深刻なトラブル予防に努めた。また、利用者からのお声やアンケート結果を元に監視カメラの増設、大集会室オペラカーテンや館内ロールスクリーンの更新、会議室の照明をLED化等も提案し、計画的に進めた。



サンクンガーデンに監視カメラを増設



破れや汚れが目立っていた  
館内ロールスクリーンの更新

以上